

環境省の令和5年度概算要求

1. GOSATシリーズの開発・運用等

R5概算要求額 50億円(R4予算27億円、R3補正30億円)

- 温室効果ガス観測技術衛星GOSATシリーズによる地球大気全体の二酸化炭素、メタン濃度の継続監視
- 平成30年10月に打ち上げたGOSAT-2の観測運用の継続
- 温室効果ガス観測の高度化及び衛星データ利活用の拡大を目指したGOSAT-GWの開発・打上げ
- GOSATシリーズデータを活用した排出量検証手法の実証と国際展開

2. GOSATシリーズの観測データ処理等

R5概算要求額 16億円(R4予算14億円、R3補正10億円)

- GOSAT、GOSAT-2観測データの処理
- 温室効果ガスの濃度分布や地域ごとの吸収・排出量等のプロダクト及びその関連情報の保存、外部提供
- GOSAT、GOSAT-2の実績・経験を踏まえた3号機観測データ処理システムの製造

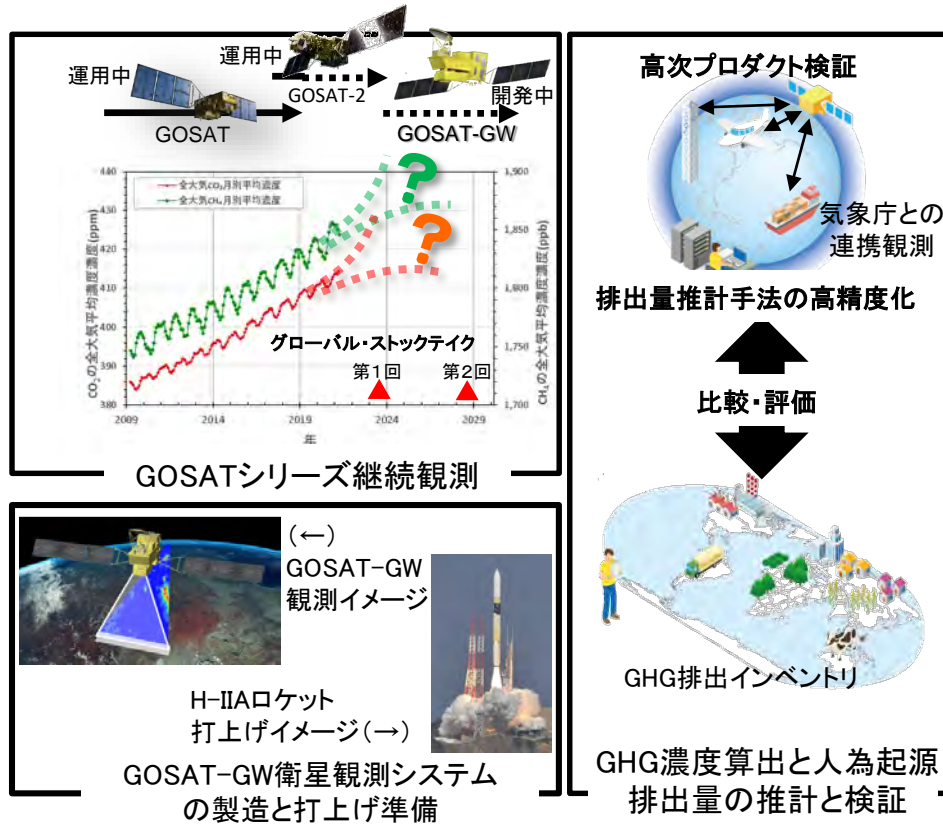
3. その他 衛星データ利活用 R5概算要求額 21億円(R4予算6億円)

- 衛星画像を用いたAI解析等による全国の太陽光パネルの設置状況等調査
- 人工衛星データを活用した日本海及び黄海における赤潮、富栄養化、藻場等の海洋環境のモニタリング
- 人工衛星による表層水温などの海洋環境データ、動物装着型記録計等を使用した絶滅危惧種の生態解明 等

合計 R5概算要求 87億円規模(R4予算46億円とR3補正40億円との合計 87億円)

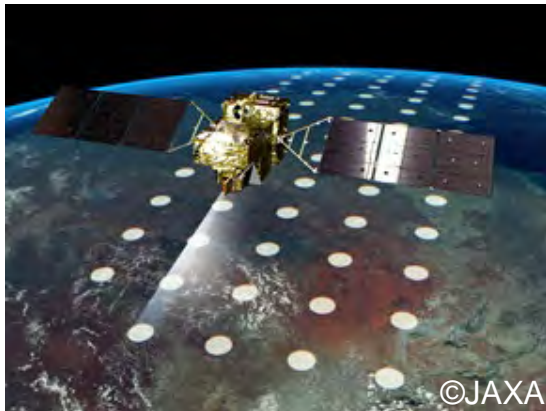
1. GOSATシリーズの開発・運用等

- GOSAT及びGOSAT-2の運用を継続的に実施し、3号機（GOSAT-GW）の開発を進め、令和5年度の打上げを目指す。
- GOSATシリーズの観測データを用いた排出インベントリとの比較検証を、中央アジアを中心に国際展開を促進する。

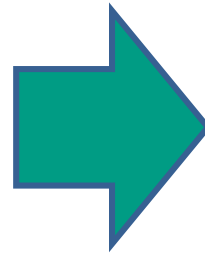


2. GOSATシリーズの観測データ処理等

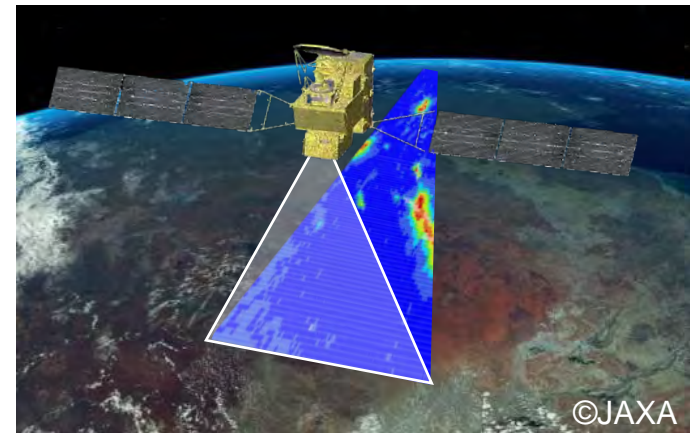
- GOSAT及びGOSAT-2の地上データ処理システムの運用を継続すると共に、GOSAT-GW用の地上データ処理システムの製作・試験を完了する。
- GOSAT-GWの打上げ後に地上データ処理システムの初期運用を開始し、面観測によってデータ点数が大幅に増加したプロダクトを活用して、より高精度な温室効果ガス排出量の推定に資する。



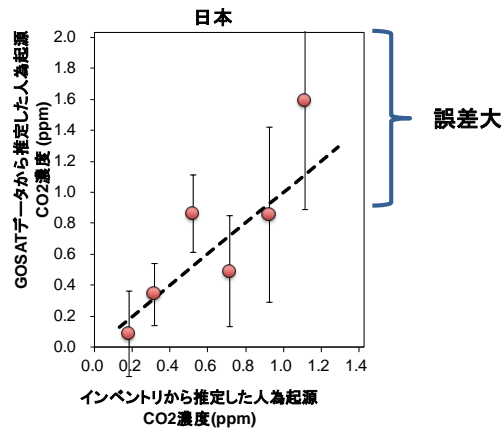
点観測から面観測へ



データ取得数を**増加**



GOSATによる比較



GOSAT-GWによる比較(イメージ)

